

2021年8月6日

各 位

会 社 名 リネットジャパングループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 グループ CEO 黒田 武志
(コード番号：3556 東証マザーズ)
問 合 せ 先 グループ CFO 管理本部長 岩切 邦雄
(TEL 052-589-2292)

カンボジア王国における中央銀行デジタル通貨普及に向け JICA 調査・実証事業に参画

リネットジャパングループ株式会社（本社：愛知県名古屋市 代表取締役社長 グループ CEO：黒田武志、以下「当社」）は、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）の「DX 主流化に向けた情報収集・確認調査」の一環として、カンボジア王国における中央銀行デジタル通貨（バコン（Bakong））の普及に向けた調査・実証事業に、協力企業として参画したことをお知らせします。

本事業は世界で初めて中央銀行が正式展開したデジタル通貨であるバコンの更なる普及を目指し、2020年12月から JICA が実施している調査・実証事業のカンボジアにおける取り組みに対して、当社が協力企業として参画するものです。

当社は既にソラミツ・ホールディングス AG（本社：スイス・ツーク、最高経営責任者：武宮誠、以下「ソラミツ社」）との間でカンボジア王国の中央銀行デジタル通貨を軸としたデジタルバンキングサービスの事業化に向けた合弁会社として Renet Soramitsu Financial Technologies Co., Ltd（本社：カンボジア王国プノンペン都 代表取締役社長：松尾俊哉、以下「RSFT 社」）を設立済みであり、本プロジェクトにおいても、ソラミツ社との連携により、RSFT 社を活用し事業調査を行って参ります。

■バコン（Bakong）概要

バコンはカンボジア王国で 2020 年 10 月から正式運用を開始しておりますカンボジア中央銀行デジタル通貨であります。

その仕組みはソラミツ社が元々の開発を行い、現在はオープンソースになっている「ハイパーレジャーいろは」をベースとしたブロックチェーン技術に基づくデジタル通貨であり、世界で初めてとなる中央銀行が発行したデジタル通貨として、その普及と様々な用途拡大に多くの注目を集めています。

すでに送金サービスを中心に利用が広がり、全人口の約 100 分の 1 にあたる 15 万件のアカウントが開設され、今後は多様な決済サービスへの拡大が望まれています。

■本実証事業の概要

カンボジア国内におけるパソコンのさらなる普及に向け、同事業ではパソコンの効果的な普及施策の検討、カンボジア中銀との協働への提案等に取り組んでいます。

具体的には、パソコンのサービス展開を促す観点で、ショッピングモールや公共市場といった小売分野での店舗決済と送金実験を展開してまいります。

また、将来他業種での支払い手段等についても普及を後押しする為の調査・実証事業を進めていく予定です。

■今後の当社の戦略

当社は、今後、当社の海外中核事業であるマイクロファイナンス等の金融事業基盤も活用し、カンボジアを中心としたデジタル通貨の普及促進と経済圏の構築に向けて、RSFT社を軸としたソラミツ社との連携を軸に、今回の調査・実証事業におけるパソコン経済圏拡大への貢献活動も踏まえて、各種データの統合・分析によるビッグデータを活用した新たな事業展開、既存金融機関への新たなサービス提供なども視野に事業化へつなげていきます。

事業化の進展につきましては、今後適宜、当社の戦略開示としてお知らせいたします。

■会社概要

【会社名】 リネットジャパングループ株式会社（東証マザーズ 証券コード：3556）

【所在地】 名古屋市中村区平池町 4-60-12 グローバルゲート 26 階

【設立】 2000年7月27日

【代表者名】 代表取締役社長 グループ CEO 黒田武志

【資本金】 16億3,375万円（2021年3月31日現在）

【従業員数】 正社員 567名(国内:101名、海外:466名)

パート・アルバイト 481名(国内:481名) ※2021年3月31日現在

【事業内容】 国内 Re 事業

<リユース>

「ネットオフ」ブランドで日本最大級のネット中古書店を展開

<小型家電リサイクル>

「環境省・経済産業省の認定事業者」としてパソコン・小型家電回収、知的障がい者の雇用創出

<障がい福祉>

グループホーム運営と就労継続支援 B 型事業所を展開

海外金融・HR 事業

<海外金融>

マイクロファイナンス、マイクロ保険、中古車販売・リース

<人材送り出し>

カンボジアにおける人材の育成と技能実習生送り出し

【URL】 <https://corp.renet.jp/>